

機関番号：32686

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2008 ～ 2010

課題番号：20730272

研究課題名 (和文) 多国籍企業のグローバル戦略とホスト国での企業間連携の関連性

研究課題名 (英文) Global Strategy of Multinational Enterprises and their effects to Inter-organizational relationship in host countries

研究代表者

井口 知栄 (IGUCHI CHIE)

立教大学・経営学部・助教

研究者番号：20411209

研究成果の概要 (和文)：

子会社の自主性の高い地域統括センター拠点や R&D 拠点の役割を持つ多国籍企業子会社に焦点をあて、海外で議論されている子会社発展に関する論文との整合性を解明するために子会社にインタビューを行った。その結果、企業間連携の本質の特徴と多国籍企業のグローバル戦略とホスト国での企業間連携の関連性について明らかにすることができた。特に、多国籍企業子会社の自主性 (Competence Creating) の高い子会社の R&D 拠点と、現地の企業や大学との協働 R&D 活動がホスト国の技術発展に貢献していることが明らかとなった。

研究成果の概要 (英文)：

This research focused on subsidiaries in host countries which has roles of regional mandates or R&D and conducted direct interviews to managers of subsidiaries to clarify how recent arguments of subsidiary evolution can fit to Asian host countries' case. Through the process of interviews and literature reviews, features of inter-organizational linkages between subsidiaries and headquarters and linkages between global strategies of multinational enterprises and inter-organizational linkages in host countries are clarified and analyzed. Roles of R&D of competence creating subsidiaries through collaborative research activities local companies or university have contributed significantly to technological development and spillover effects to Asian host countries.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2009 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2010 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：国際経営、グローバル経営戦略、技術戦略

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：多国籍企業、バックワードリンクージュ、企業間連携、グローバル戦略、研究開発 (R&D)

1. 研究開始当初の背景

多国籍企業の本社の国際戦略に関する

研究において、海外進出した後のホスト国での多国籍企業子会社の本社とは異なる戦略や、近隣諸国への国際戦略、それぞれのホスト国における企業間連携に関する研究や、多国籍企業子会社の本質、ホスト国での役割、形態、組織に関する研究は少ない。多国籍企業子会社の国際戦略の変化として、ホスト国での役割の変化が近年注目されているが、発展途上国がホスト国の場合、多国籍企業子会社が「製品開発」や R&D の ”R” である「基礎研究」の役割を持つ子会社は稀であり、ホスト国が発展途上国の場合の R&D の役割の本質はまだ研究段階である。企業間連携に関しては多国籍企業子会社と現地サプライヤー間のバックワードリンケージに関する研究業績が増えているが、バックワードリンケージを受ける側である現地サプライヤーの技術力レベルについての研究、更には、現地サプライヤーの技術力レベルとナショナル・イノベーション・システムの関係性に関する議論も少ない。

バックワードリンケージは多国籍企業子会社によって与えられるリンケージであるからこそ、バックワードリンケージだけに焦点をあてるのではなく、多国籍企業子会社のホスト国における企業間連携としてバックワードリンケージとフォワードリンケージを体系的に捉える必要性を見出した。また、企業間連携は、多国籍企業（子会社だけでなく本社も含む）の国際戦略、特に国際生産ネットワークとの関連が強いことが聞き取り調査から明らかとなっている。そこで、どの製品をどこで、どのような技術を利用して製造し、どこへ供給するのか、という国境を越えた体系的な国際生産ネットワークは、結果的には体系的な企業間連携へと反映し、影響を与えると考察する必要がある。

多国籍企業が海外進出することによりホ

スト国での国際戦略と企業間連携の関連性を体系的に明らかにし、その関連性とナショナル・イノベーション・システムの向上の仕組みを明らかにする試みは、これまでの研究ではされていない。

2. 研究の目的

自主性の高い地域統括センター拠点や R&D 拠点を持つ子会社を誘致するホスト国に焦点をあて、(1) 企業間連携（特にフォワードリンケージ）の本質を理論的、かつ、実証的に明確にする、(2) 多国籍企業子会社のバックワードリンケージとフォワードリンケージの関連性、(3) 多国籍企業の国際戦略、国際生産ネットワークと企業間連携の関連性、(4) 多国籍企業子会社の自主性（Competence Creating）と企業間連携の関連性を、理論的・実証的に明らかにする。

3. 研究の方法

先行文献研究において、最先端の専門的知識を海外の大学（イギリス、アメリカ、スイス、タイ）の先生や国際機関の研究員に提供して頂く機会を得ると同時に、意見交換をした。実証的に多国籍企業子会社の国際戦略と企業間連携を体系的に解明するために、タイ、フィリピン、台湾で合計 50 社強の聞き取り調査を行った。先行文献整理と聞き取り調査で得たデータを用いて論文を執筆した。学会（国内・海外）で報告する際に提出するフル論文に対する通常 2 名の査読者からのコメントから、研究方法に関する多くのアイデアを得ることもできた。

4. 研究成果

本研究調査により、多国籍企業のグローバル戦略と多国籍企業子会社の企業間連携の体系化研究の進化がなされ、多国籍企業子会社

がいかにホスト国の技術発展に貢献しているのか、という点を明らかにすることができた。また、海外の学会で積極的に報告し、多くの報告を聞き、日本語に訳されていない海外の先進的研究論文を文献として用いた論文を書いた。

得られた成果（論文）が、SSCIにリストされている査読付き国際ジャーナルに掲載することができた（校了、刊行は2012年2月）ことは研究内容が少なからず、学術的にインパクトを持つことができたことと言える。

当初予定していたホスト国全てが訪問できていないので、今後はこれまでの蓄積データと比較できるよう、予定していたホスト国の調査を続けて行きたい。また、バックワードリンク、フォワードリンク、それぞれの体系化は可能となったが、二つの関連性を見出すまでに至っていないため、今後は不足しているデータをさらに集めて研究していきたい。最後に、英語での学会報告、論文執筆を続けることにより、海外に積極的に発信していきたい。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計4件）

- 1) Iguchi, C. and Hayashi, T. (2010), "Global Collaborative R&D for MNEs' Innovation Systems -The Case of Culture-Specific Industry -", *International Journal of Business Strategy*, Vol. 10, No. 4, pp14-32. (査読有)
- 2) Iguchi, C., (2010), "Globalisation of R&D Activities by TNC: Evidence from Subsidiaries in South East Asian Countries", *International Journal of Business Strategy*, Vol. 10, No. 2, pp56-66. (査読有)
- 3) Iguchi, C. and Hayashi, T. (2009), "Knowledge Creation and Global Collaborative R&D Systems - Comparative Analysis of Kao Corporation, P&G, and UNILEVER",

International Journal of Global Business and Competitiveness, Vol. 4, pp1-14. (査読有)

- 4) Iguchi, C., (2008), "Global Business Strategy of Subsidiaries: The Case of Malaysia", 立命館経営学, 第45巻第1号, pp21-42.

〔学会発表〕（計8件）

- 1) Iguchi, C. and Hayashi, T., "Global Innovation and R&D for Knowledge Creation -The Case of P&G, Unilever and Kao -", European International Business Academy (EIBA), 2010年12月10日, University of Porto, Portugal
- 2) Iguchi, C., "Global Innovation Strategy of TNC Subsidiaries in South East Asian Countries", International Federation of East Asian Management Associations (IFEAMA), 2010年10月21日, Hanyang University, South Korea
- 3) Iguchi, C. and Hayashi, T., "Global Collaborative R&D for MNEs' Innovation Systems -The Case of Culture-Specific Industry -", International Academy of Business and Economics (IABE), 2010年10月18日, Hotel Circus Circus, Las Vegas, USA
- 4) Iguchi, C., "Globalisation of R&D Activities by TNC: Evidence from Subsidiaries in South East Asian Countries" International Academy of Business and Economics (IABE), 2010年6月5日, Dusit Thani Hotel, Pataya, Thailand
- 5) 井口知栄, 「多国籍企業のイノベーション・システムにおけるグローバル協働研究開発の考察」、日本経営学会関東部会、2010年1月23日、於大東文化大学
- 6) Iguchi, C., "Globalisation of R&D by TNC subsidiaries: the case of South East Asian Countries" Euro-Asia Management Studies Association, 2009年10月24日, EPFL - CDM - CSI, Lausanne, Switzerland
- 7) 井口知栄, 「多国籍企業子会社の役割変化-東南アジア諸国の能力創造型子会社と研究開発拠点の事例を中心として-」,

多国籍企業学会，2009年7月11日，コ
ーブイン京都

- 8) Jun, Jong-Kun, Hyun Jae-Hoon, C. Iguchi,
“Have Inward FDI Flows been affected
by the Enlargement of the EU?: An
Empirical Analysis of Korean and
Japanese FDI in Europe”, Academy of
International Business, 2009年6月26
日, Sheraton San Diego Hotel and Marina,
USA

〔図書〕（計 3 件）

- 1) Arita, T., Iguchi, C. and McCann, P.
(2010), “Foreign Direct Investment,
Knowledge Assets and the Economic
Geography of Growth in the Asian BRIICS
Countries”, in *Regional Endogenous
Development*, *Stimson, R.*, Nijkamp, P.
and Stough. R., (eds.), Edward Elgar
Publishing, pp160-181
- 2) 井口知栄, 「海外で活躍する企業」 (土
居、近藤、小久保編、『経営学部で学ぶた
めに』) 2008, 文理閣, pp250-261
- 3) 井口知栄, 「現代企業のグローバル戦略」
(田中、小久保編) 『マネジメント論—管
理、そして組織を考える』, 2008, ナカ
ニシヤ出版, pp129-144

6. 研究組織

(1) 研究代表者

井口 知栄 (IGUCHI CHIE)
立教大学・経営学部・助教
研究者番号：20411209

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし